

再評価結果（平成26年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課

担当課長名：茅野 牧夫

事業名	一般国道55号 <small>なんこくあき</small> 南国安芸道路(芸西西～安芸西) <small>げいせいにし あきにし</small>	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 四国地方整備局
起終点	自：高知県安芸郡芸西村西分 至：高知県安芸市馬ノ丁	延長	8.5km		
事業概要					
<p>一般国道55号南国安芸道路は、高規格幹線道路網を構成する自動車専用道路として整備される高知東部自動車道の一部であり、四国横断自動車道及び阿南安芸自動車道と一体的に機能することにより、四国8の字ネットワークを形成し、規格の高い信頼性のあるネットワークを延伸し、高知東部地域と高知中心部の連携強化を図るほか、災害時における広域交通ネットワーク確保を目的とする高規格幹線道路である。</p> <p>また、南海トラフ巨大地震などの災害発生時の広域交通ネットワークとしての役割も担っており、更には高知市に集中している救命救急を担う第3次医療施設への速達性の向上や、地域間の円滑な交通流動の確保を目的としている。</p>					
H23年度事業化		H11年度都市計画決定 (H一年度変更)		H一年度用地着手	
				H一年度工事着手	
全体事業費		355億円		事業進捗率	
				約1%	
計画交通量		10,500～12,100台/日		供用済延長	
				0.0km	
費用対効果分析結果	B/C (事業全体)	2.2		総費用 (残事業)/ (事業全体) 288/296億円 〔事業費：276/284億円〕 〔維持管理費：13/13億円〕	総便益 (残事業)/ (事業全体) 645/645億円 〔走行時間短縮便益：549/549億円〕 〔走行経費減少便益：73/73億円〕 〔交通事故減少便益：23/23億円〕
	(残事業)	2.2			
基準年 ：平成25年					
感度分析の結果					
<p>【事業全体】交通量：B/C=1.8～2.6 (交通量 ±10%) 【残事業】交通量：B/C=1.8～2.7 (交通量 ±10%)</p> <p>事業費：B/C=2.0～2.4 (事業費 ±10%) 事業費：B/C=2.0～2.5 (事業費 ±10%)</p> <p>事業期間：B/C=2.1～2.3 (事業期間±20%) 事業期間：B/C=2.1～2.4 (事業期間±20%)</p>					
事業の効果等					
<p>南海トラフ巨大地震による津波浸水被害が予測される地域に対して緊急輸送道路の代替機能を確保し、県東部地域へのアクセス向上による地域の産業・観光振興の支援など、多様な整備効果が期待できる。</p>					
①円滑なモビリティの確保					
<ul style="list-style-type: none"> ・現道等の時間損失の削減が見込まれる ・現道等のバス路線の利便性や快適性の向上が見込まれる ・JR後免駅へのアクセス向上が見込まれる ・高知龍馬空港へのアクセス向上が見込まれる 					
②物流効率化の支援					
<ul style="list-style-type: none"> ・高知県東部における農林水産品（ゆず、なす、ブリ等）の流通の利便性向上が見込まれる 					
③国土・地域ネットワークの構築					
<ul style="list-style-type: none"> ・高知市～安芸市を連絡する高規格幹線道路の一部を構成する ・高知市～安芸市を最短時間で連絡する路線を構成する ・日常活動圏中心都市（香南市）へのアクセス向上が期待される 					
④個性ある地域の形成					
<ul style="list-style-type: none"> ・香南市・安芸市・室戸市：観光振興プロジェクト、安芸市：過疎地域自立促進プロジェクト、北川村：ゆず振興プロジェクトを支援する ・高知県東部地域への観光アクセスを支援 					
⑤安全で安心できるくらしの確保					
<ul style="list-style-type: none"> ・安芸市から第三次救急医療施設（高知赤十字病院、高知医療センター）への搬送時間が短縮し、重篤患者の救命率向上が見込まれる 					
⑦災害への備え					
<ul style="list-style-type: none"> ・孤立化する芸西村、安芸市の集落を解消する ・国道55号は第一次緊急輸送道路に位置づけられている ・現道である国道55号が浸水等により通行止めになった場合の代替路を形成 					

